今週の一枚：　街を見守るマリヤ様　　2011年10月２日　フィリピン・マニラにて撮影

フィリピンはカトリックの国、そして祈りの国である。
人々にはイエスがいつも身近にあり、安らぎに満ち、幸せを得る術を知っている。
その中で悲しみや憎しみを乗り越えるために祈る。
少なくとも、無信仰が殆どの多くの我々より、人生の生き方を悟っているように思える。
心の拠り所しっかりをもっていることは羨ましいことである。

そのフィリピンのいたるところで見られるのが、通りに立つマリア像である。
バランガイと呼ばれる町内会組織には、その町の所有物として立つ。
そして、学校や公園の通り、金持ちの家の前にはそのオーナーも立てる。

ここを通るとき、立ち止まり、祈る人も多い。

この画面は、商店街のバランガイ所有のマリア様。
そのマリア様に祈りを捧げる少女の像も配している。
この少女は一体、何を祈っているのだろう。